

2011年 第1問

1 a, b を実数の定数とする. x と y についての連立方程式

$$\begin{cases} y = |x - 1| - |x - 2| \\ y = ax^2 + bx \end{cases}$$

について以下の問に答えよ.

(1) $a = 0, b = 0$ のとき, 解の組は $(x, y) = \left(\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}, \boxed{\text{ウ}} \right)$ である.

(2) $a = 0$ のとき連立方程式の解の組 (x, y) が 3 個あるのは, $\boxed{\text{エ}} < b < \frac{\boxed{\text{オ}}}{\boxed{\text{カ}}}$ のときである.

(3) $b = 0$ のとき連立方程式の解の組 (x, y) が 2 個あるのは, $a < \boxed{\text{キ}}$ または $\boxed{\text{ク}} < a < \frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}}}$ のときである.